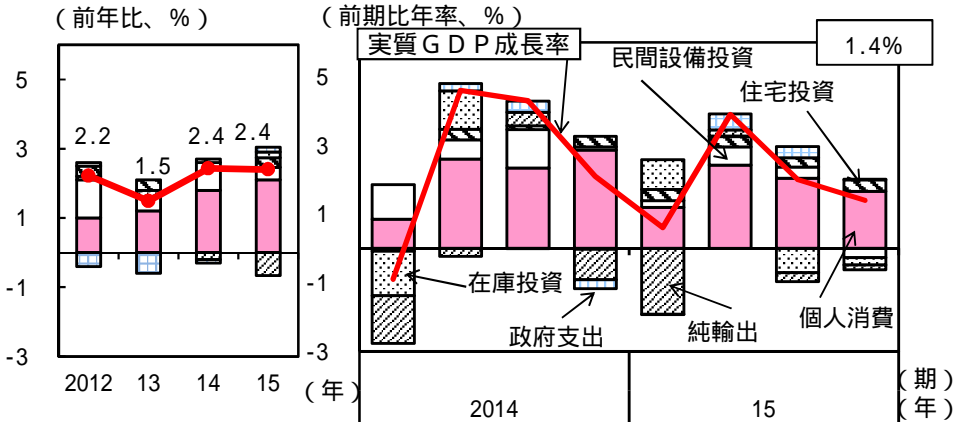


1. アメリカ

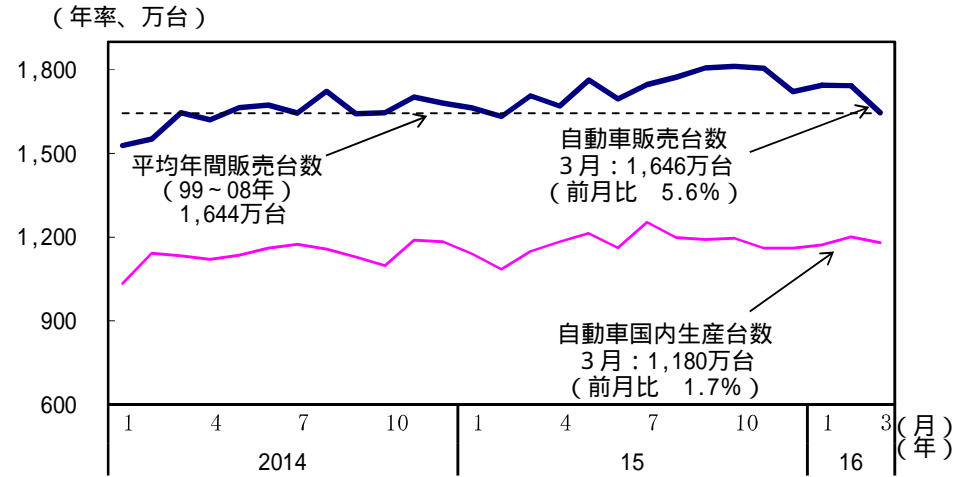
アメリカでは、企業部門の一部に弱めの動きもみられるが、景気は回復が続いている。

実質GDP成長率（3次推計値）
2015年10 - 12月期は前期比年率1.4%成長

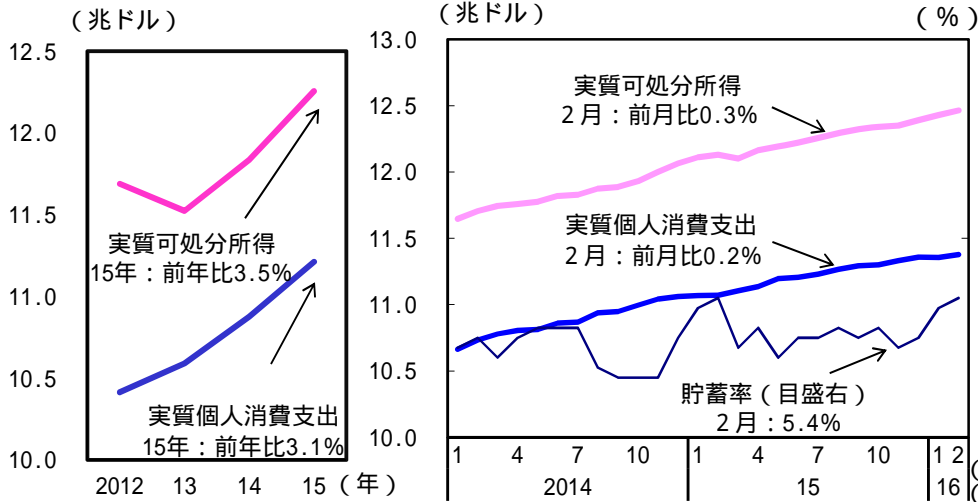


(備考) 2015年10 - 12月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費：1.7、民間設備投資：0.3、住宅投資：0.3、在庫投資：0.2、政府支出：0.0、純輸出：0.1。

自動車販売台数は一時的な要因もあり減少

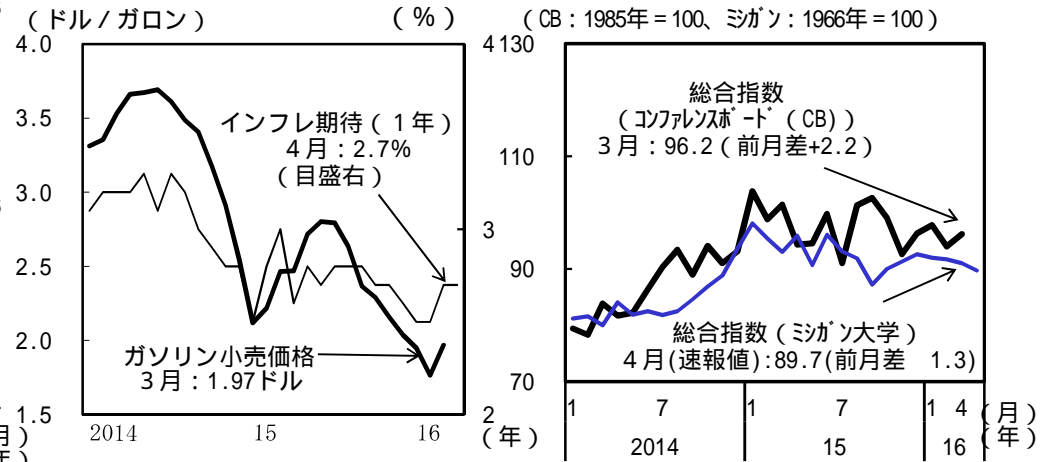


消費は増加



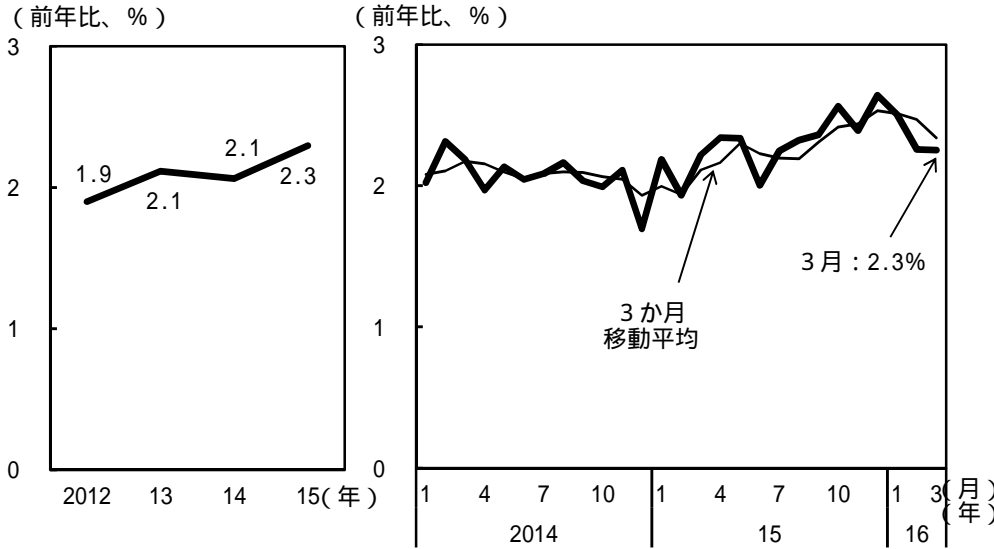
(備考) 月次の値は年率換算。

消費者信頼感指数



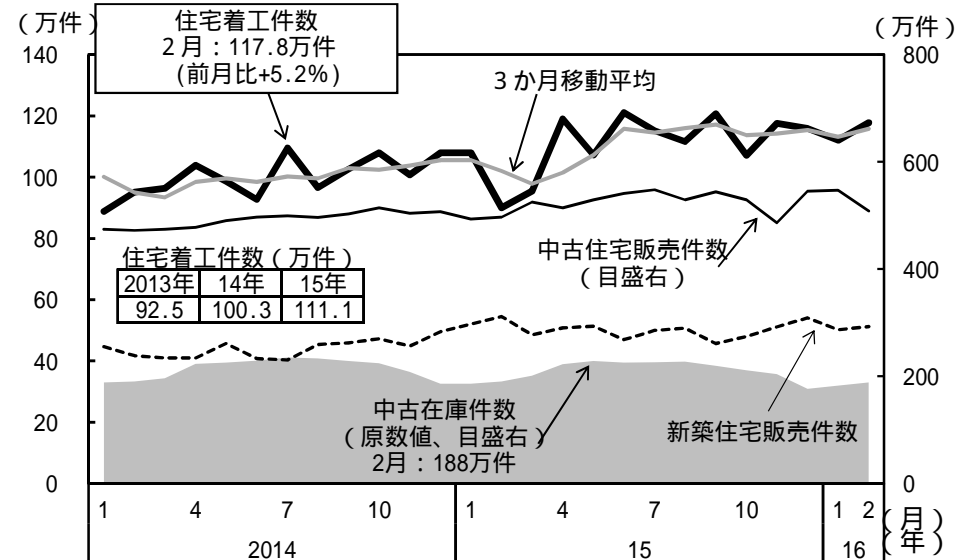
(備考) 1.インフレ期待は、今後1年後における物価上昇率予測回答の中央値。
2.ガソリン小売価格は月平均価格。

賃金の伸びはやや高まっている



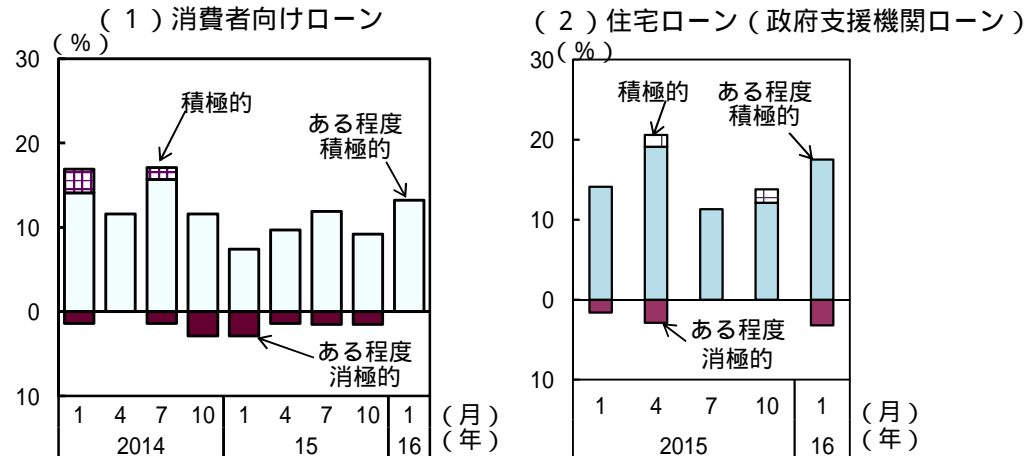
(備考) 賃金の伸びは全雇用者の時間当たり賃金の前年比。

住宅着工は緩やかに増加



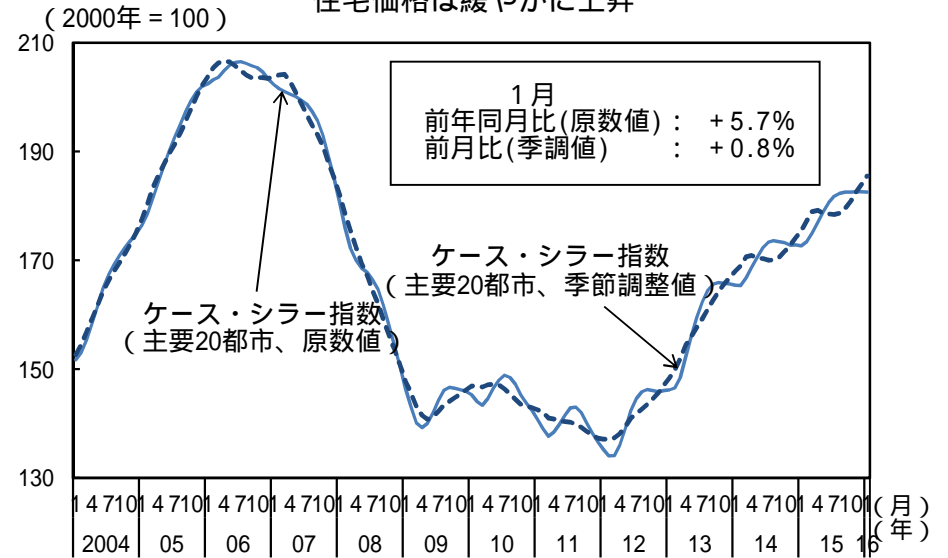
(備考) 1. 住宅着工件数、新築住宅販売件数、中古住宅販売件数は年率換算。
2. 16年2月の販売件数に対する中古在庫の割合は4.4ヵ月分。

金融機関の消費者向けローンに対する貸出態度は緩和傾向

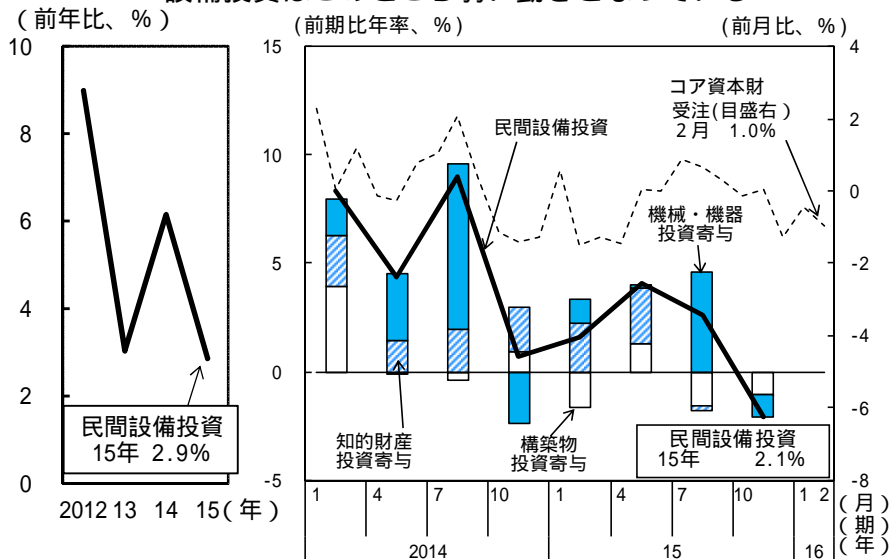


(備考) 1. 金融機関に対し、(1) 過去3ヵ月間で消費者向けローンに対する貸出態度をどのように変化させたか、(2) 住宅ローン(政府支援機関ローン)の申請に対する貸出基準をどのように変化させたか、それぞれアンケート調査を行ったもの。
2. 「変化なし」の回答は含めていない。
3. 消費者向けローンは住宅ローンを含まない。
4. 住宅ローンについては15年1月より調査内容が変更。

住宅価格は緩やかに上昇

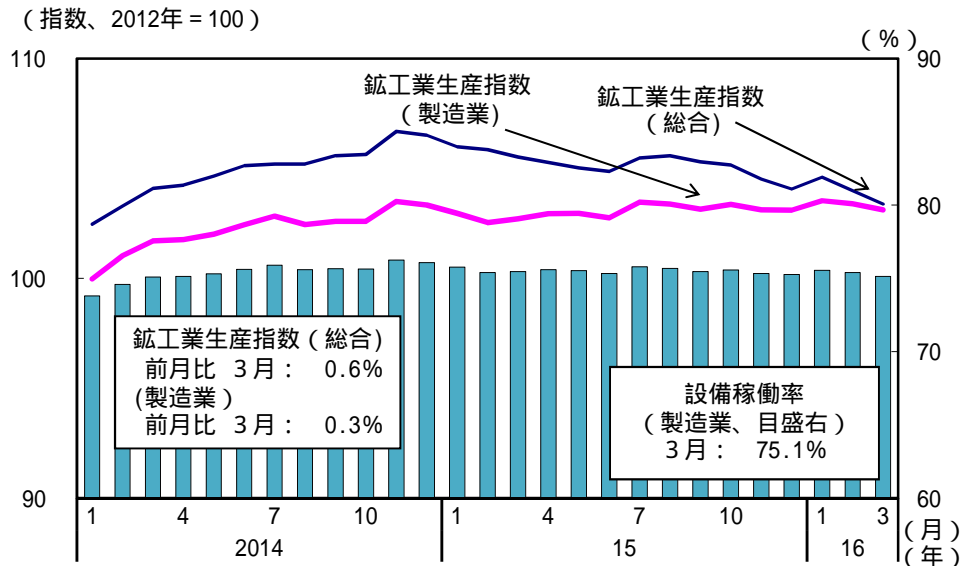


設備投資はこのところ弱い動きとなっている

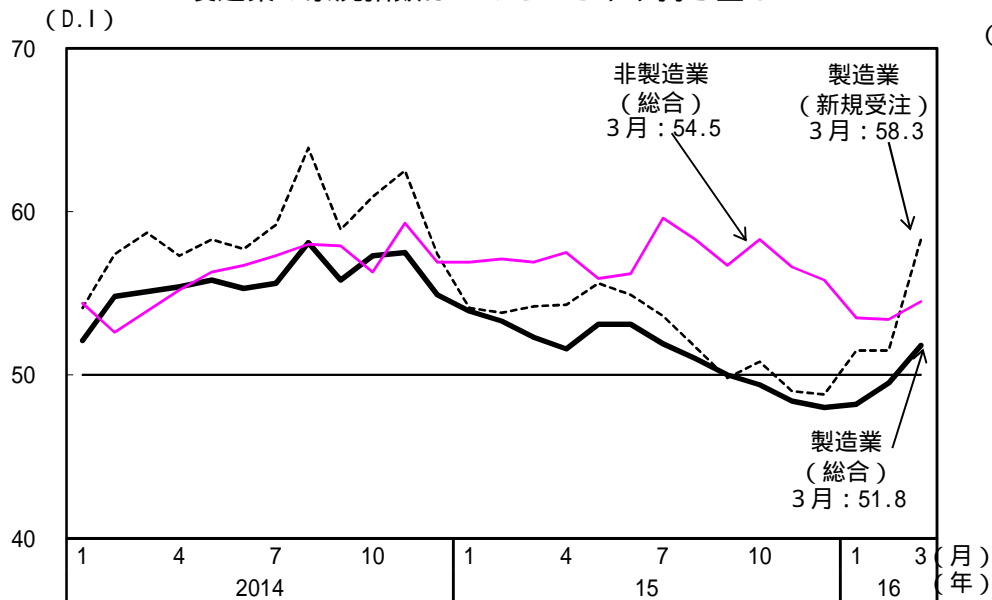


(備考) コア資本財受注は3か月移動平均値。

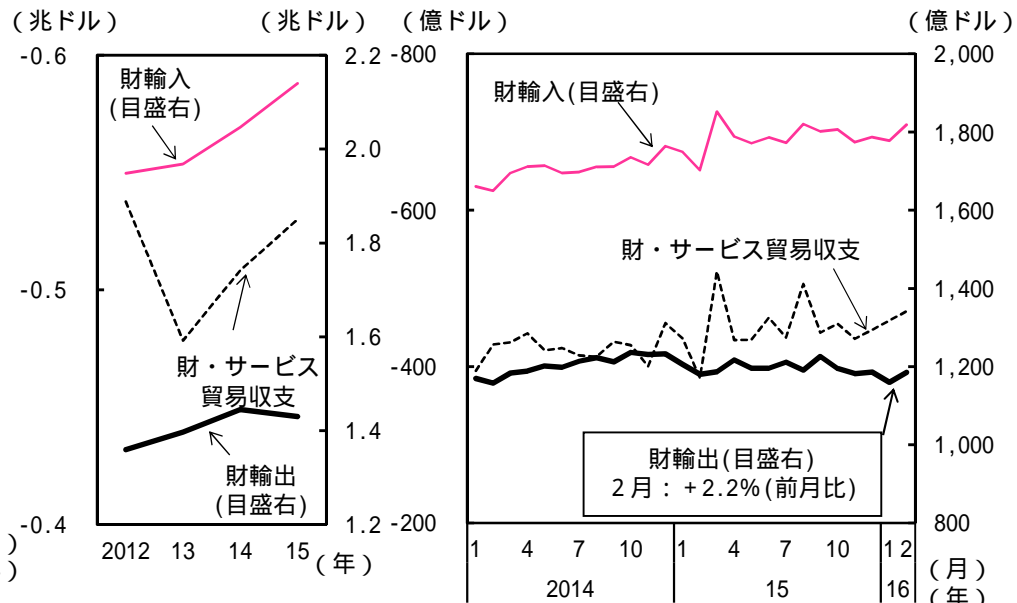
生産はこのところ弱い動きとなっている



製造業の景況指数はこのところやや持ち直し



財輸出はこのところ弱い動き



(備考) 財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

